

キャラクター名 \_\_\_\_\_ プレイヤー名 \_\_\_\_\_  
アドノア・レグ・ザーバンド

ベースシークエンス	グラディウス	レベル	2
アザーシークエンス	クロスバイツ	性別	男
出生タイプ		年齢	26
出自	村人	運命	容姿端麗

	初期	成長	他修正	能力値	一般判定 成功率
体	9	0	0	9	44 %
知	7	0	0	7	42 %
敏	10	1	1	12	47 %
運	7	1	0	8	43 %

<b>HP</b>	45
<b>MP</b>	38
移動時 ウィル	7
戦闘時 ウィル	24

装備品		命中	威力	回避	命中	威力	回避	行動	防護
武器 1	ライフル・リード(51,100%命中率、爆発L-3のリードをもつ)		5						
武器 2									
防具	レザーマント			2			2		2
インナー	アクティブ								
アクセサリ	クロムチェーン								
アクセサリ									
能力値+ボーナス		32	4	9	26	0	3	12	0
アーツ									
その他									
総計(1)		32 %	9	11 %	26 %	0	5 %	12	2
総計(2)		32 %	4	11 %	26 %	0	5 %	12	2
総計(両)		32 %	9	11 %	26 %	0	5 %	12	2

ドミナ村出身。  
何軒かいるうちの宿屋の内の一軒、それなりに裕福な生まれ。5人家族の3男。  
ただし、両親は僕約をすることをよしとする、できた人。  
しかし村自体は平和ボケして面が多々あり、お金の扱いも雑なことが多い。  
それでも人柄はいいため、外面はよい。  
宿屋を離ぐことも考えたが兄が2人いるため、できないだろうと断念。  
他のことのほうが自分で稼いでいけるのではないかということで一人で旅をする決意、両親からも許可を得て旅を始める。

旅は基本的に穏やかに過ぎていき、特にこれと言った苦難もなかった。  
しかしあるとき、雨の中山道を歩いていた時のことで、落石によって左半身のかなりの部分をつぶされることとなる。  
いくら多少の旅はしてきたとはいえ、まだ幼い体にはその一撃は重く、且つ雨が徐々に体力を奪っていく。  
段々と瞼がじていくなか、よぎるのは家族のこと。  
無事に帰ると約束をしたにも関わらず、それを破ること。  
嫌だと思ったその時に突如として能力に目覚める。  
その山から落ちてきた岩を身体が食らい、潰されたはずの場所が完全に復活したうえでその思考はおかしいまでに澄み切っていた。

試しに使ったその力が決め手となり、学園機関アサルトエンジンへと入学を目指し、入学の運びとなった。  
今でもその部分は見た目こそ完全な人型ではあるが、岩石と人間の体の組成の複雑に組み合ったものとなっているため、鉄分などの鉱石に関する食物をとることが多い。  
本人も割と好んでとっている。